

令和２年度原子力防災訓練について

宮城県復興・危機管理部原子力安全対策課

本県における令和２年度の原子力防災訓練については、以下の対応となりましたので報告します。

１ 令和２年度原子力総合防災訓練の年度内実施見送りについて

- 今年度の本県の原子力防災訓練は、国の原子力総合防災訓練と一体となって令和３年２月上旬に実施する予定としていた。
- しかし、国とともに行う原子力総合防災訓練については、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて当面の延期が決定され、緊急事態宣言解除後に実施することとなり、その後、東京都をはじめとする１０都府県を対象に発令された緊急事態宣言の期限延長が決定されたこと等を受け、令和３年２月５日に年度内実施が見送られることとなった。

２ 県として実施した訓練

国とともに行う原子力総合防災訓練の実施は見送ることになったが、感染症対策を講じつつ、地域として実施可能な訓練を以下のとおり実施した。

(１) 避難退域時検査等訓練

- イ 日時 令和３年１月１５日（金）午前９時から午後２時３０分まで
- ロ 場所 美里町南郷体育館
- ハ 対象 県及び東北電力の要員
- ニ 参加者数 ９４名（県７６名、東北電力１８名）
- ホ 実施内容

要員がゲートモニタの組み立てをはじめとする検査場所の立ち上げを実践したほか、車両及び乗員の放射性物質の付着状況の検査・簡易除染、安定ヨウ素剤の緊急配布及び通過証の交付など、避難退域時検査等に係る一連の手順を確認し、要員の知識の習得及び技術の向上を図った。

また、避難退域時検査等の一連の手順を繰り返し行い、検査時間を測定することで、検査手順や要員配置、車両の誘導方法の改善効果を確認した。



ゲートモニタの組み立て



防護服の着脱



車両の指定箇所検査

(2) 緊急時通信連絡訓練

- イ 日時 令和3年3月15日（月）午後1時から午後4時30分まで
- ロ 場所 宮城県庁，関係市町村庁舎 他
- ハ 対象 県，県内全市町村及び関係防災機関の職員
- ニ 実施内容

原子力事業者通報や国の指示等に基づく応急対策の内容について，県内全市町村及び関係防災機関が緊急時通信連絡を実施し，通信設備等の機器の運用方法の習熟を図るとともに，初動の通信連絡の手順を確認するもの。

(3) 避難所受付ステーション拠点運営訓練

- イ 日時 令和3年3月16日（火）午後2時から午後3時まで
- ロ 場所 泉総合運動場（仙台市泉区野村字新桂島前60番地）
- ハ 対象 県及び市町村の職員
- ニ 実施内容

「避難所受付ステーション運営ガイドライン」に基づき，ドライブスルー方式による受付ステーションを開設し，住民の受付，避難すべき避難所の伝達等，避難所受付ステーションで実施する一連の手順を確認するもの。

また，感染症流行下を模擬し，要員の装備や資機材など，必要な実施体制を検証するもの。

3 今後の対応

- 年度内の実施が見送られた国とともに原子力総合防災訓練の延期後の具体的な実施時期については，住民参加を含めた完全な形で実施できるよう，引き続き国と調整を進めていく。
- また，今年度実施した要素別訓練において抽出された課題を踏まえ，原子力防災体制及び避難計画の更なる改善を図っていく。

※ 避難所受付ステーション

原子力災害時の広域避難にあたり，避難先自治体に設置される拠点。

関係市町の避難計画においては，住民は，計画で定められた避難所受付ステーションに向かい，避難すべき避難所等の伝達を受けて避難所に避難することとされている。

避難計画〔原子力災害〕作成ガイドラインでは，避難所受付ステーションは，避難先市町村が初動で開設することとしている。